

大地震後の八房川逆流津波からの避難場所及び経路図①

いちき串木野市立川上小学校

震度6、7など大地震が起こった場合、津波が遡上してくることを想定する必要があります。

以下の形で二次避難を行います。ただし、道路の寸断、橋の崩落などの状況をとらえて、その場で臨機応変に変更しながらなるべく短時間で逃げ場を確保することとします。ページ①や②を参考に。

第2避難先「内門バス停」
学校から徒歩で約7分
学校との標高差20m高

この道を進むほど標高は高くなるが、地震時はがけ崩れの可能性がある。

「内門」バス停

山下板金

大地震後は必ず同規模の余震が来るので、再び建物に入るのは危険。屋上へは避難できません。

大地震時、机の下避難後ゆれが収まったら校庭中央に避難。情報収集後できるだけ早くこの図で示す「山下板金」前、「内門バス停」まで徒歩で二次避難します。

地震発生時はすぐテレビかラジオをつけ、震源や津波予報等の情報を集めます。市の防災無線にも耳を傾けます。

八房川

ふりかき 鮎

川上小

←国道3号

→市来ダム

橋を渡りしばらく低地を多くので避難に向きか

農面 ↓

※ 職員各自、携帯電話を所持。
保護者緊急連絡先一覧、救急箱も。

大地震後の八房川逆流津波からの避難場所及び経路図②

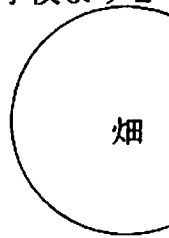
いちき串木野市立川上小学校

地震発生時はすぐテレビかラジオをつけ、震源や津波予報等の情報を集めます。市の防災無線にも耳を傾けます。

机の下から校庭中央へ避難。情報収集後、できるだけ早く、この図で示す高台の「畑」まで徒歩で二次避難します。

大地震後は必ず同規模の余震が来るので、再び建物に入るのは危険。屋上へは避難できません。

学校より20m高



急な上り坂
コンクリート製

民家

川上小

山下
板金

内門
バス停

八房川

内門公民館

ふちわかき商店

市来ダム→

至 三号線

〒

至
農面 ↓

職員各自、携帯電話を所持。
保護者緊急連絡先一覧、救急箱も。